

九十九王子と熊野古道



紀州路を歩く・紀州路を楽しむ

和歌山県街道マップ

熊野古道

中辺路 紀伊田辺～熊野本宮大社
赤木越・大日越
熊野速玉大社～熊野那智大社
大雲取越・小雲取越・かけぬけ道



田辺市の中辺路と大辺路の分岐点でもあります。三橋王子から西行法師ゆかりの八上王子を経て、藤原定家の「熊野御幸記」に五郎王子と記されている稻葉根王子からは岩田川(現:富田川)に沿って上流の滝尻王子へと向かいます。この川を歩いて渡ることが禊ぎであり、藤原宗忠は19回も渡河を重ねています。「平家物語」の平重盛等のエピソードや「義経記」にも記述があり、重要な堀離の川でありました。後鳥羽天皇の御室、修明門院が承元4年(1210)の御幸の時、前夜からの大風雨をおして無理に渡河し、9人も溺死するという史実は、まさに難行苦行の苦悽さを物語っています。国道311号の北郡トンネル入口付近から左の山上に登る道が熊野古道ですが、清瀬茶屋から真砂の里の対岸の辺りにも熊野古道があったと推定されます。

一方、三橋王子の手前から東に向かう、長尾坂を登り、横山の山腹を縫って、潮見峠を経て、中辺路町栗柄川に至る道が「潮見峠越」です。1日も早く熊野の湯につかり、三山にお参りしたいという一般庶民が歩いた近世の熊野古道です。熊野への最短コースであります。

ルートその1【P6へ】 紀伊田辺駅～稻葉根王子

辺で海回りの大辺路と分かれた古道は、いよいよ山また山の中辺路へと入り、一路熊野本宮大社をめざします。このコースは、中辺路の入口にあたり、田辺市から上富田町にかけての継やかな丘陵地に進みます。

田辺市東部の秋津・呂呂・三橋といった王子

子社をめぐり、阿波の町に越えれば上富田町。

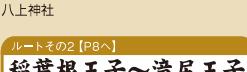
「西行」ゆかりの「上王子」「南熊野神社」ゆかりの田中神社等、歴史と文化に彩られた史蹟

に立ち寄りながら歩きます。

コースの最後は、昔の旅人が聖水と崇めた

富田川沿いに鎮座する稻葉根王子社。

聖水で身を清める「水垢離」が盛んに行われた、別格の五躰王子社です。



ルートその2【P8へ】 稻葉根王子～滝尻王子

稻葉根王子から清らかな流れの富田川に沿って通り、田辺市中辺路町滝尻王子へと向かいます。現世の不淨を清めると考えられた富田川を、旅人は何度も渡りながら遡ったといわれ、それを証明するかのように、このコースでは王子社が川の北側・南側と交互に現れます。後半は富田川沿いの気持ちの良い地道で導かれ、いよいよ中辺路町。

清姫生誕の地といわれる真砂の里を過ぎると、ようなく滝尻王子に到着。ここは、現世と熊野の神々が籠もる聖域の境であり、古道を行く人々の要所となつたところです。

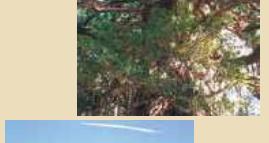


清姫の墓所

ルートその3【P10へ】 潮見峠下三栖バス停～観橋

富田川沿いに遡るルートに対し、田辺市三橋王子の手前から方向を真東にとり、横山(標高796m)の山麓を越え、中辺路町栗柄川に抜けるルート「潮見峠越」です。

登りも下りも非常に美しいコースではあります、口熊野といわれた田辺市から熊野三山の聖域のはじまりとされる滝尻王子までを最短で結ぶルートとして、主に近世になって開かれました。コース途中には、昔ながらの石畳や名号碑、茶屋跡をはじめとして古道の面影を留めた箇所が多く、猿の木の杉といわれる溝姫ゆかりの大木や、紀伊水道の眺望など、旅人をもてなしてくれます。



古道散策の際には、以下のルール・マナーを守って歩きましょう。

- ゴミ(弁当がらや空き缶・ペットボトル等)は、必ず持ち帰りましょう。
- 古道沿いの植物を傷つけたり、自然の草花を持ち帰ったりすることはやめましょう。
- 歩行が原則です。やむをえないとき以外は走らないようにしましょう。
- 歩きタバコやポイ捨ては絶対にやめ、喫煙マナーを守りましょう。
- お互いに気持よく挨拶を交わしましょう。
- トレッキングポールを使用する場合は先端の石突きにゴムキャップを使用するなど、道を傷つけないようにしましょう。
- 山中人気のない所や、携帯電話の通じないエリアもありますので、事前に計画をたて、無理のない行程で歩きましょう。また、山中は日の入り時間よりも1時間以上早く暗くなるエリアがありますので、十分ご注意ください。

和歌山県街道マップのご利用にあたって

●この街道マップは、「高野参詣道」「熊野古道」に代表される和歌山県の街道を多くの方に歩いて触れていただくことを目的に制作したものであり、学術的な調査や研究に基づいて、古道ルートを規定・限定する意味で作られたものではありません。予めご承知のうえご活用ください。

●「高野参詣道」「熊野古道」等の和歌山県の街道に関する情報・解説などは、和歌山県観光ホームページ(<https://www.wakayama-kanko.or.jp/>)の「世界遺産 高野山・世界遺産 熊野・熊野古道」をご覧いただけます。

●登山届について
●万が一に備え、必要に応じて登山届を提出しましょう。
詳細は和歌山県警察HPをご確認ください。

●問い合わせ先：和歌山県警察本部地域指導課【TEL】073-423-0110



滝 尾王子は熊野御山の聖域のはじまりです。ここからの急坂の途中には藤原秀衡ゆかりの「乳岩」や「胎内ぐり」があり、これらは熊野の神々(自然)の靈力を語るものとして、信仰の山の象徴といえます。高原の里からは山中深く分け入り、大坂本王子へと下り、熊野古道のシンボルである箸折峠の牛馬童子の石像へと続きます。近霧の里を眺めながら坂を下り、四十万川に勝るとも劣らない日置川を渡ると近霧王子に到着です。温泉もあり、ここで一泊して本宮へと向かうのが一般的です。ここから野中の一方杉や清水のある繼桜王子、小広峠から草鞋峠の女坂、岩神峠への男坂、せせらぎの音に身も心も洗われる湯川王子のある道湯川の集落跡から一越、二越、三越して三越峠へ至ります。これから、いよいよ奥熊野へと入ります。発心門王子・水呑王子と進み、和泉式部ゆかりの伏拵王子では熊野本宮社旧社地、大斎原が望まれ、思わず伏しあがむる風景が広がります。

赤木越は船玉神社付近から湯の峰温泉へ、大田越は湯の峰温泉と熊野本宮大社を結ぶ古道です。

ルートその1【P12へ】

滝尻王子～継桜王子

平安貴族の藤原宗忠が、「はじめて(熊野権現の)御山の内に入る」と記した滝尻王子にはじまるこのコースからいよいよ熊野三山の聖域に入ります。このコースの特徴はアップダウンが激しいことと、スタート地点の滝尻王子と、最高地点の上多和茶屋跡は約600mの標高差があり、滝尻王子からいかなりの急坂が旅人を驚かせます。

そんな厳しいコースの中には、藤原秀衡ゆかりの「乳岩」、熊野古道中辺路で最古の社殿が残る「高原熊野神社」、西国音觀鏡中興の祖「花山法皇」の旅姿を模したといわれる「牛馬童子像」等様々な見所があり、暫し疲れを忘れてさせてくれます。

本宮の手前最後の宿所とされた近霧の里で宿泊し、南方熊楠翁の手により見事な杉林が残る野中に至る、本格的なコースです。



牛馬童子像



日本名水百選のひとつ野中の清水



近霧王子



五軒王子・滝尻王子



高原熊野神社

ルートその2【P16へ】

継桜王子～熊野本宮大社

見事な杉林が残る、野中をスタートし小広峠から少し古道に分け入れば、そこはもう「木の国」紀州ならではの大森林が広がります。熊野本宮大社に向けて全体的には下りのルートとなりますが、途中「草鞋峠」「岩神峠」「三越峠」等の難所が待ち構えています。

それらの難所を越え、熊野本宮大社の神域の入口とされる別格の「発心門王子」、高台から熊野本宮のお社を一望した旅人が、有難さのあまり平伏し拝んだといわれる「伏拵王子」等本宮町内の王子社をめぐって「熊野本宮大社」へと、激しく、苦しい道程を経て大社への参拝を果たした、昔の旅人の感動を追体験してい



伏拵王子から大斎原を望む



古 くは熊野本宮から新宮(熊野速玉大社)へは、熊野川を舟で下りました。神倉山の巔にあるゴトビキ岩に降臨した熊野権現が、後に熊野速玉大社に移られたため新宮と呼ばれています。毎年2月6日のお燈まつりが有名です。新宮からは王子ヶ浜の海岸に出で、高野坂の絶景をめでながら浜の宮王子・補陀洛渡海で有名な補陀洛山寺へと向かいます。熊野古道はここから那智川に沿って那智山へと進み、途中大杉群の中にある大門坂を登りつめると熊野那智大社、那智山青岸渡寺への参道です。那智の滝も一望の下にあります。

那智山青岸渡寺の裏手の長大石段が大雲取越への古道です。途中から妙法山へ向かうかけぬけ道と分かれます。那智山から再び本宮へと戻るこのコースは酷い山坂の連続であり、亡者の靈魂が迫ったという「死出の山路」から「亡者の出会い」への道は、うっそうとして、幽玄な霊園気が漂っています。南方熊楠翁が大雲取越にとりつかれたというのもうなづけます。大雲取越は文字通り、雲をつかむような熊野古道唯一の離所、舟見峠で熊野灘の眺望を楽しむ余裕もなく、越前峠に達します。小雲取越には「賽の河原」もあり、熊野が「隱國(こもりく)」つまり靈魂の籠もある地であることを実感します。しかし生きながら難行告げてこの「黄泉の川」で生まれ変わつて「甦り」(黄泉の川からかえる川)、感謝の日々を過ごせること請け合いの請川で大雲取越、小雲取越の旅は終わりを迎えます。

赤木越は船玉神社付近から湯の峰温泉へ、大田越は湯の峰温泉と熊野本宮大社を結ぶ古道です。

ルートその3【P20へ】

赤木越 船玉神社～湯の峰温泉

滝尻王子社と熊野三山を結ぶ熊野御幸メイ

インルートの途中、三越峠から分岐して湯の峰温泉経由で熊野本宮大社に向かうルートが赤木越で、近世には頻繁に利用されたルートです。現在は三越峠から首無川の源流の谷道を下った船玉神社手前から植林帯を右に登るルートが分岐しており、なべわれ地蔵や柿原茶屋跡を途中に見ながら、日本最古の温泉といわれる湯の峰温泉へと下ります。

新宮市内は中世の海沿いのルートと、近世のルートに分かれますが、古道の名所として知られた高野坂の手前で合流し、高野坂から熊野灘の絶景を眺めて新宮市三輪橋へ向かいます。ここから古道は、海沿いで佐野・宇久井を経て、補陀洛淨土への玄関口とされた那智山へと向かいますが、この区間の古道は推定が難しく、国道を歩く区間も少なくありません。車等には充分注意して歩いてください。

ブルービーチ那智から程なく所にある、浜の宮王子・補陀洛山寺を起点として、那智川に沿って熊野那智大社・那智山青岸渡寺へと向かいます。途中、井闘地区では山林の中を行く自然道となり、市野子王子を経て古道はいよいよ熊野那智大社への参道である大門坂へ。創始八百年といわれる夫婦杉が長い道程の苦労をねぎらってくれます。見事な杉が立ち並ぶ大門坂の途中には、熊野九十九王子最後の王子社である「多富気王子」があり、ここを過ぎれば程なくで、最終目的地である「熊野那智大社」「那智山青岸渡寺」に到着。これまでの疲れも、熊野灘を果たした心地よい達成感によって拭い去られるごとでしょう。

熊野灘を終えた旅人は、背後に餘る那智・妙法の山を登り、雲の中を行くごとき、大雲取・小雲取を越えて本宮へと戻ります。那智山青岸渡寺の裏手から、那智高原を越え、その名の通り、熊野灘を一周できる「舟見峠」へと登った後、死者が葬くといわれる標高約800～1000mの熊野の山塊を進みます。人跡稀な石倅跡・越前峠・胴切坂等の険しいルートの途中には旅籠跡・茶屋跡が点在し、今も旅人の心を和ませてくれます。熊野三山の神々が集まって談笑した場所といわれる「円座石」を過ぎれば、程なくゴールの小口に到着。清流「赤木川」沿いに開けたこの集落は、大雲取と小雲取の中継点として賑わつた所です。



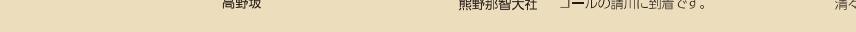
やうだい
円座石



大門坂



高野坂



熊野那智大社

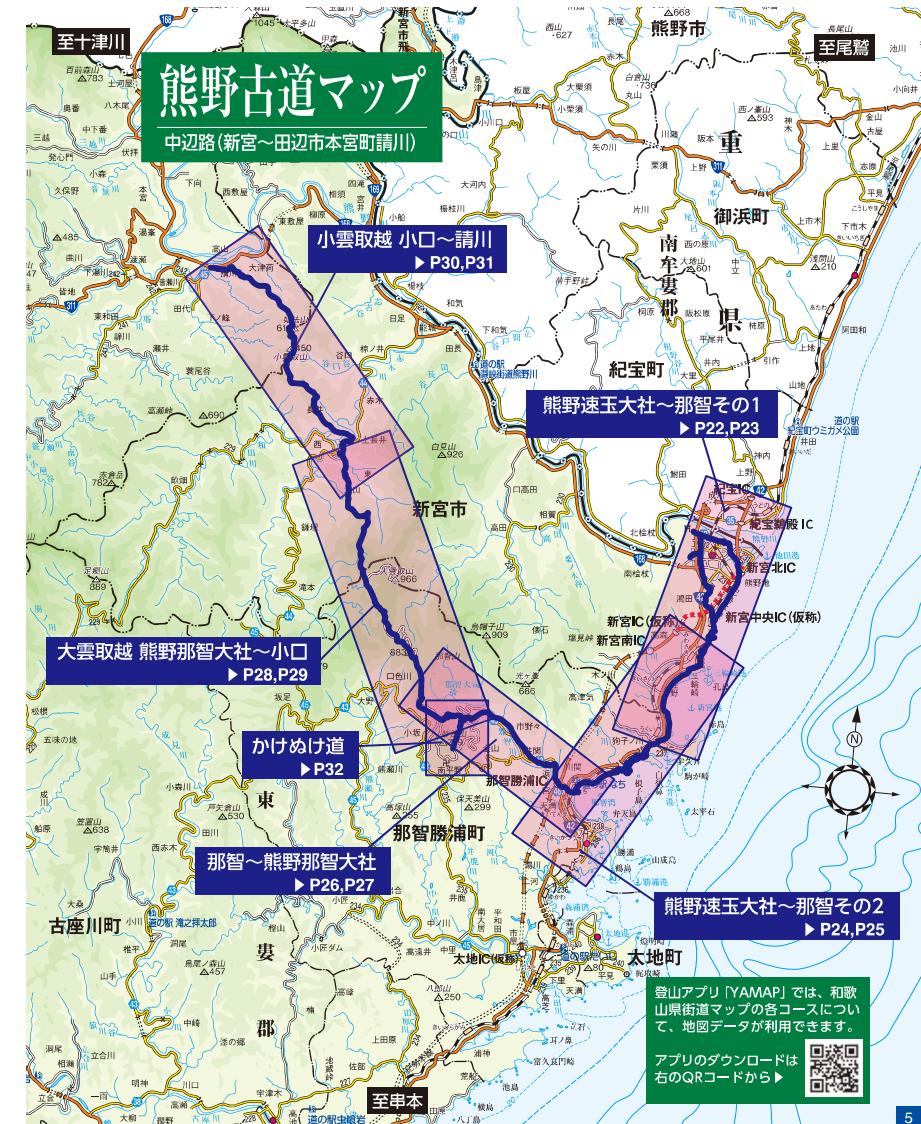


小雲取越 小口～請川

かけぬけ道

かけぬけ道は、熊野那智大社から熊野本宮大社へと向かう大雲取越から分岐して、妙法山阿弥陀寺へ向かうルートです。那智山青岸渡寺の裏手の登り口から大雲取越を10分ほど歩くと、「左妙法山 大雲かけぬけ道」と書かれた道標があり、ここから妙法山まで石畳と石碑がよく残る、かけぬけ道が続きます。苔むした急な石段を登り女人高野と呼ばれた阿弥陀寺へ。静かな境内は濃とした霧氷気に包まれています。妙法山の頂上付近に行くと、海を見渡すことができ、満々しい気持ちになります。

3

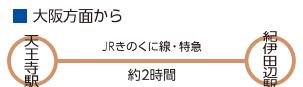


このコースでは、紀伊田辺駅から稻葉根王子まで歩きます。ルートは、左会津を上流へと歩き、秋津王子、万呂王子へと続きます。三栖王子からは、古道の面影のある自然道で蛇行には南方熊野の林中像の写真撮影場所があり、岡坂を下りきり新岡坂トンネルの出口の先に八上王子があります。田中神社からは、稻葉に越えるコースがあり、峰を超えると稻葉根王子です。



スタート地点までのアクセス

JRさきのくに線を利用して「紀伊田辺駅」へ。新大阪・天王寺方面から特急列車は、ほぼ1時間に1本の間隔で運転しています。普通列車利用の場合は「和歌山駅」「御坊駅」で乗り換えが必要となります。



お帰りは

「稻葉根王子」バス停まで歩き、路線バスで「紀伊田辺駅」へ戻ります(1~2時間に1本の間隔で運転)。



宿泊の方は

お問い合わせ
田辺観光協会 0739-26-9929
南紀白浜観光協会 0739-43-3201
上富田町観光協会 0739-33-9610
上富田町内に宿泊するか、日帰りの場合と同様の方法で紀伊田辺駅に戻り駿周邊で宿泊、または明光バスを利用して白浜に出て白浜温泉に宿泊する方法があります。白浜温泉方面は1日2本の運行となりますのでご注意ください。

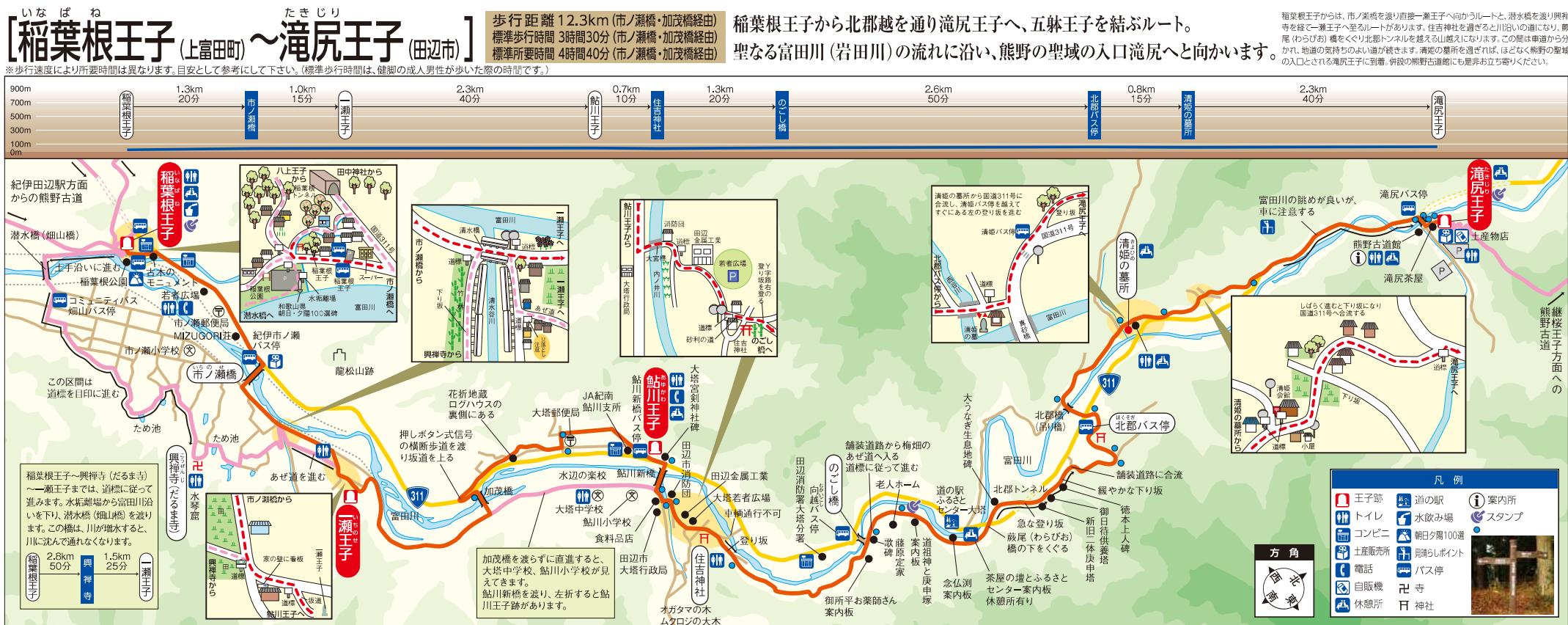


標準の歩行記録 (参考行程: 見学時間等を含む。稻葉根トンネル経由)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|---|---|
| 紀伊田辺駅 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| 10:10 | 10:20 | 10:30 | 11:10 | 11:20 | 11:50 | 11:55 | 12:20 | 13:00 | 13:25 | 13:30 | | | | |
| (ここで昼食休憩・お弁当) | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | | | | |
| 三栖廃寺塔跡 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 稻葉根王子 | | | |
| 13:45 | 13:50 | | 14:05 | 14:10 | 14:45 | 14:55 | 15:05 | 15:15 | | 15:45 | | | | |
| →→→→→ | | | | | | | | | | | | | | |
| 熊野古道水垢離体験場なども見学して稻葉根王子バス停へ | | | | | | | | | | | | | | |

沿道の花ごよみ

三栖王子周辺
梅…見頃 2月中旬～3月上旬
田中神社
藤…見頃 5月上旬～6月下旬
大賀バス…見頃 6月上旬～7月下旬
花の見頃は年により異なる場合があります。



スタート地点までのアクセス

- 紀伊田辺駅から
明光バス「栗柄川行」「新宮駅行」又は熊野バス「奈良心門王子行」「本宮大社行」に乗車し、「稻葉根王子」バス停で下車(1~2時間に1本の間隔で運行)。白浜温泉からは、明光バス「新宮駅行」で「稻葉根王子」バス停下車。白浜温泉からは、1日2本の運行となりますのでご注意ください。
- 白浜温泉方面から
各白浜温泉箇所内
明光バス
約55分

お帰りは

- 稲葉根王子
約21分
- 滝尻
明光バス
約40分

宿泊の方は

- お問い合わせ
中辺路観光協会 0739-64-1470
上富田町観光協会 0739-33-9610
- 日帰りの場合は、「滝尻」バス停まで歩き、路線バスで「紀伊田辺駅」へ戻ります(1~2時間に1本の間隔で運行)。
- 滝尻バス停から紀伊田辺駅へ
明光バス
約76分

標準の歩行記録 (参考行程:見学時間等を含む。市ノ瀬橋・加茂橋経由)

| | | | | | | |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 稻葉根王子バス停 | 10:50 | 10:53 | 11:00 | 11:20 | 11:35 | 11:40 |
| (市ノ瀬橋経由で歩きました) | | | | | | |
| ・・・ | | | | | | |
| ・・・ | | | | | | |
| ・・・ | 12:20 | 12:25 | 12:35 | 13:10 | 13:30 | 14:20 |
| (ここで昼食休憩:お弁当) | | | | | | |
| ・・・ | | | | | | |
| ・・・ | 14:35 | 14:50 | 15:30 | | | |
| (富田川を眺めながら休止) | | | | | | |

- 市ノ瀬橋周辺
コスモス・見頃
10月上旬~10月下旬
- 興禪寺(花の寺)
フジバカラ・アサギマダラ・見頃
10月上旬~11月下旬
- ツツジ・シャクナゲ・ボタン・アジサイ等
様々な花が楽しめます。
- 花の見頃は年により異なる場合があります。

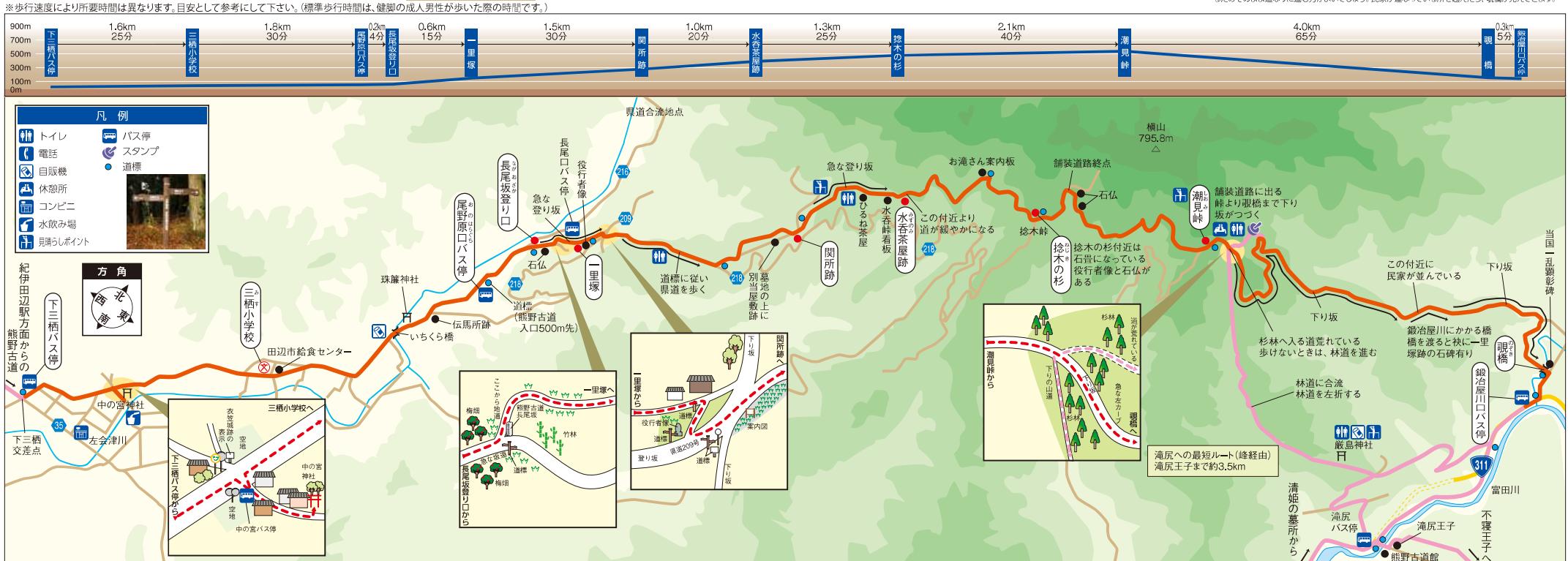
【潮見峠 下三栖～覗橋(田辺市)】

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

**歩行距離 14.4km
標準歩行時間 4時間20分
標準所要時間 5時間35分**

長尾坂を通る「潮見峠越」は、近世に入って以降、熊野詣でのルートのひとつとして賑わった時期があります。苔むした道端の石に時代を感じることができます。

尾野原口バス停からすぐのところに長尾坂登り口があります。ここから水呑茶屋跡まで登り坂が続きますが、以後は、潮見峠まで緩やかな山道になります。松木軒には、清楚説として伝えられる松木の杉があり、万力でねじられたかの様な枝や幹は山の渋淡感と合せて神秘的な雰囲気です。潮見峠からは、下りが延々続くので足下に注意。途中、古道のルートとして、無数道路から松林へ入る箇所がありますが、荒れていためそのまま通りに進む方がよいでしょう。民家が並んでいる所を越えたら、覗橋が見えできます。



スタート地点までのアクセス



お帰りは



標準の歩行記録 (参考行程: 見学時間等を含む。)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 下三栖バス停 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| 11:20 | | | | | | | | | | | | | | |
| <small>(途中の珠簾神社で40分の昼食休憩: お弁当)</small> | | | | | | | | | | | | | | |
| 11:45 | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:00 | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:15 | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:20 | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:50 | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:55 | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| 水呑茶屋跡 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| 14:15 | | | | | | | | | | | | | | |
| 14:25 | | | | | | | | | | | | | | |
| 14:50 | | | | | | | | | | | | | | |
| 15:00 | | | | | | | | | | | | | | |
| 15:40 | | | | | | | | | | | | | | |
| 15:45 | | | | | | | | | | | | | | |
| 16:50 | | | | | | | | | | | | | | |
| 16:55 | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| 覗橋 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| 銀治屋川口バス停 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |

沿道の花ごよみ

沿道各所
梅…見頃 2月中旬～3月上旬
花の開花は年により異なる場合があります。